



倒木したシンボルツリー けやき活用プロジェクト ②

②



戸田市立美谷本小学校



美谷本小開校以来、152年の歴史とともに歩んできた本校シンボルツリーの「けやき」は、令和6年7月24日に発生した落雷を伴った突風の影響により、倒れてしまいました。

「倒木したけやきを活用し、後世に残してもらいたい」という地域の声が多くあがりました。

けやき活用プロジェクト①（R6）では、予算0でできること（輪切りコースター、けやきふれあい階段）を行いました。

プロジェクト①（R7）では、クラファン資金を活用し、子供たちがPBLでけやきを活用して考えたことを実現できる取組（けやきキーホルダー、けやきモルックづくり）を行っています。

倒木けやき材は、多く残っており、その活用を今後も進めていきたいと考えています。



そこでプロジェクト②では・・・

倒木けやき材にレーザー彫刻機で刻印し、けやきの新たな活用を探っていきます。（テクノロジー×インクルーシブ教育）

●倒木けやき材にレーザー彫刻を施す活動に、多様な背景をもつすべての児童が関わり、互いを認め合いながら、共に学びを深めるというインクルーシブ教育や交流教育の視点を取り入れます。

・捨てればゴミとなってしまうものをテクノロジーと融合したものづくりの視点を持ち、「新たな価値」の創造を経験させていきます。

・レーザー彫刻機を中心にして、共に学んでいく活動を行います。（特別支援学校との支援席学習、幼保小交流や地域のお年寄りとの交流の際のプレゼントづくり等）

●必要経費の概算金額

・簡易レーザー彫刻機 8 台（5 万円× 8）※ 4 人で一台を活用し、授業で使用

●留意事項要件について

①子供たちが主となってけやき材の活用を考え、創造していく部分が多分にある「脱・予定調和」である。

②子供が協力して作りだしていく「脱・教師主導」である。

戸田市立美谷本小学校





けやき × テクノロジー × インクル・交流
美谷本小の未来づくりを行う
新たなプロジェクトをスタート